④　合格者発表　平成22年９月10日（金）　衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵送で通知する。

⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）

①　試験日　平成22年９月21日（火）又は22日（水）のうち指定する日

②　試験場　衆議院事務局

③　試験内容　個別面接試験

⑸　最終合格者発表　10月上旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

8　衛視試験

⑴　給与　この試験に合格して採用された場合には、原則として、議院警察職給料表の１級３号給が支給される。このほか、国会職員の給与等に関する規程の定めるところにより、諸手当が支給される。

⑵　受験資格　昭和63年４月２日から平成５年４月１日までに生まれた者で次に掲げる者

ａ　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成23年３月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

ｂ　衆議院事務局がａに掲げる者と同等の資格があると認める者

ただし、日本国籍を有しない者及び国会職員法第二条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。

⑶　第１次試験

①　試験日　平成22年９月４日（土）

②　試験場　東京都

③　試験内容　一般教養試験（多枝選択式）

④　合格者発表　平成22年９月10日（金）　衆議院第二別館前掲示板において発表するほか、衆議院ホームページでも知らせる。また、合格者については郵便で通知する。

⑤　スポーツ等の資格経歴の考慮について　衛視試験の第１次試験の合否判定に際して、柔道、剣道等の段位、及び各種スポーツで秀でた成績をあげた経歴等（全国規模で行われる大会で、日本選手権、国民体育大会、大学選手権、全国高校総合体育大会及びそれに準じる大会の出場経験、若しくはこれに類するもの）を考慮することとする。

⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）

①　試験日　平成22年９月29日（水）及び９月30日（木）の両日

②　試験場　衆議院事務局

③　試験内容

ａ　身体検査

ｂ　体力検査

ｃ　個別面接試験

なお、検査結果において、身長160㎝（女子154㎝）以上、裸眼視力0.6以上（又は矯正視力1.0以上）、色覚及び聴力が衛視としての職務の執行に支障がないこと、衛視としての職務の執行に支障のある疾患がないことのいずれかを満たさない場合、それを理由に不合格とすることがある。

⑸　最終合格者発表　10月中旬頃、合否を各人あてに郵便で通知する。

9　受験手続及び問合せ先

⑴　受験申込書の請求　受験申込書及び試験案内は、衆議院事務局庶務部人事課任用係で交付する。

郵便で請求する場合は、請求用封筒の表に「Ⅰ種請求」、「Ⅱ種請求」、「Ⅲ種請求」又は「衛視請求」のいずれかを朱書し、返信用封筒として120円切手を貼った角型２号（33.2㎝×24.0㎝）程度の封筒を同封すること。

⑵　提出書類

○　Ⅰ種試験、Ⅱ種試験及びⅢ種試験　受験申込書

○　衛視試験

ａ　受験申込書

ｂ　スポーツ等資格経歴の考慮対象となる資格経歴がある場合、当該資格経歴を証明する書類の写し

⑶　受付期間

○　Ⅰ種試験　平成22年４月１日（木）から４月15日（木）まで（郵送の場合は４月15日消印有効。）

○　Ⅱ種試験　平成22年４月１日（木）から４月15日（木）まで（郵送の場合は４月15日消印有効。）

○　Ⅲ種試験　平成22年７月15日（木）から７月29日（木）まで（郵送の場合は７月29日消印有効。）

○　衛視試験　平成22年７月15日（木）から７月29日（木）まで（郵送の場合は７月29日消印有効。）

受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く平日午前10時から午後５時まで。郵送での受験申込みの場合は、特定記録郵便とし、封筒の表に「Ⅰ種試験申込」、「Ⅱ種試験申込」、「Ⅲ種試験申込」又は「衛視試験申込」と朱書すること。

⑷　併願受験　Ⅲ種試験と衛視試験は併願することができない。

⑸　提出先及び問合せ先　〒100―8960 東京都千代田区永田町１－７－１　衆議院事務局庶務部人事課任用係（衆議院第二別館）　電話03―3581―6866

⑹　その他　試験の詳細については、別に作成している試験案内、衆議院のホームページ等を参照すること。

平成22年度国立国会図書館職員採用試験公告

平成22年度国立国会図書館職員採用試験について、次のとおり告知する。

平成22年３月１日　　国立国会図書館

1　試験の種類

⑴　国立国会図書館職員採用Ⅰ種試験

⑵　国立国会図書館職員採用Ⅱ種試験

⑶　国立国会図書館職員採用Ⅲ種試験

2　職務内容　Ⅰ種、Ⅱ種試験による採用者においては、調査業務、司書業務、一般事務等の館務。Ⅲ種試験による採用者においては、司書業務、一般事務等の館務。

3　官署及び勤務地

⑴　東京都

①　国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町１―10―１）

②　国立国会図書館国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12―49）

⑵　京都府

国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台８－１－３）

いずれの官署の職員も、国立国会図書館職員として、本採用試験により採用する。三官署が国立国会図書館として一体となった業務・サービスを行うため、官署間の異動、東京と京都の間の転勤がある。

4　採用予定人数

⑴　Ⅰ種試験　若干名

⑵　Ⅱ種試験　若干名

⑶　Ⅲ種試験　若干名

5　Ⅰ種試験

⑴　受験資格

①　昭和56年４月２日から平成元年４月１日までに生まれた者

②　平成元年４月２日以降に生まれた者で次に掲げるもの

ａ　学校教育法による大学を卒業した者又は平成23年３月までに卒業する見込みの者

ｂ　館長がａに掲げる者と同等の資格があると認める者

ただし、日本の国籍を有しない者及び国会職員法第２条の規定により国会職員となることができない者は、受験することができない。

⑵　受験の特例

Ⅰ種試験の受験者は、申込みに際して、併せて平成22年度国立国会図書館職員採用Ⅱ種試験の受験者としての取扱いを希望することができる。

⑶　第１次試験

①　試験日　平成22年５月22日（土）

②　試験地　東京都及び京都府

③　試験内容　教養試験（多肢選択式）

④　合格者発表　平成22年６月１日（火）

⑷　第２次試験（第１次試験の合格者に対して行う。）

①　試験日及び試験地

ａ　平成22年６月19日（土）　筆記試験（専門試験、英語試験及び小論文試験）　東京都

ｂ　平成22年６月22日（火）から６月25日（金）まで、６月28日（月）から６月29日（火）まで、７月２日（金）及び７月５日（月）のうち指定する日　人物試験　国立国会図書館東京本館

②　試験内容

ａ　専門試験（記述式）　法学（憲法、民法、行政法及び国際法からの２科目選択式）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、東洋史及び西洋史からの選択式）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学（工学全般及び情報工学からの選択式）及び生物学のうち、受験者があらかじめ選択する１科目

ｂ　英語試験（記述式）

ｃ　小論文試験